

集計結果

	児童数	平均正答率(%)
北海道	29,261	73.1

ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
			北海道
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	93.1
	書くこと	3	59.7
	読むこと	3	72.5
	言語事項	13	71.6
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	1	35.7
	話す・聞く能力	1	93.1
	書く能力	3	59.7
	読む能力	3	72.5
	言語についての知識・理解・技能	13	71.6
問題形式	選択式	6	72.4
	短答式	10	73.5
	記述式	0	

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			北海道				
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)		
1-(1)	漢字を読む(音楽室に移動する。)	学年別漢字配当表の第五学年までに配当されている漢字を正しく読む														98.6	0.6	
1-(2)	漢字を読む(すばらしい演技におどろく。)																96.2	0.7
1-(3)	漢字を読む(むだを省くようにする。)																69.1	11.1
1二(1)	漢字を書く(庭に <u>うめ</u> の木を植える。)	学年別漢字配当表の第五学年までに配当されている漢字を正しく書く															89.7	3.5
1二(2)	漢字を書く(カラスの数が <u>ひじょう</u> に多い。)																53.3	16.3
1二(3)	漢字を書く(部屋のお <u>んど</u> を記録する。)																91.5	2.1
2	文の中における複数の主語の述語に当たるものをそれぞれ選択する	文の中における複数の主語と述語とを照応する															60.9	2.2
3	スピーチの内容の取り上げ方のよいところを説明したものととして適切なものを選択する	相手や目的に応じて、自分の考えが明確に伝わるように内容を選んで話す															93.1	0.3
4	文と文、段落と段落との接続関係が整うように適切な言葉それぞれを選択する	文と文との意味のつながりや文章全体における段落の役割を考えながら、接続関係を整えて書く															66.9	0.2
5	主語を置き換えて記事の下書きを書き直す	目的や意図に応じ、表現の効果を考えて書き換える															35.7	5.2
6一	新聞記事の構成を説明したものとして適切なものを選択する	必要な情報を得るために、新聞記事を効果的に読む															80.7	3.2
6二	新聞記事の中で問題となっている事実を捉えて書く																64.8	16.9
7	ちょうちんとハンカチの関係を押さえ、感想の一部に適切な言葉を引き出して書く	詩の情景について、叙述を基に想像しながら読む															71.9	8.8
8一	四つの言葉の中から国語辞典に最初に出てくる言葉を選択する	国語辞典を利用して語句を調べる方法を理解する															56.6	7.2
8二	国語辞典を利用して調べる言葉を言い切りの形に直して書く																64.1	16.9
9	お礼の手紙の下書きの書き直し方を説明したものとして適切なものを選択する	相手や目的に応じ、敬体と常体との違いに注意して書く															76.5	12.2

集計結果

	児童数	平均正答率(%)
北海道	29,154	36.2

ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
			北海道
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	43.0
	書くこと	2	30.6
	読むこと	4	32.0
	言語事項	3	33.0
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	5	35.2
	話す・聞く能力	4	43.0
	書く能力	2	30.6
	読む能力	4	32.0
	言語についての知識・理解・技能	3	33.0
問題形式	選択式	1	57.6
	短答式	5	33.2
	記述式	4	34.5

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			北海道			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	
1ー	記録係として発言を聞き、理由と意見を整理して簡潔に書く	話し手の意図を捉えながら聞き、意見と理由をまとめる														37.8	22.4
1二(1)ア	司会として発言を聞き、意見の共通点と相違点を整理して書く	互いの考えの共通点と相違点を考え、司会の役割を果たしながら計画的に話し合う														49.2	8.9
1二(1)イ																27.5	12.7
1二(2)	司会の発言の意図を説明したのものと適切なものを選択する	話し手の発言を受け止め、話し合いの方向を整理し、司会の役割を果たしながら計画的に話し合う														57.6	9.6
2ー	提案に対する相手の意見を取り入れて、自分の考えについての理由を書く	目的や意図に応じ、自分の考えを効果的に書く														42.1	12.7
2二	提案に対する相手の意見を取り下げて、自分の考えと理由を書く															19.2	24.7
3ーア	二つの伝記を比べて読み、登場人物の心情を表している言葉や文を抜き出して書く	伝記を比べて読み、考えを交流することで、優れた叙述を多面的に捉える														55.7	24.0
3ーイ																17.5	42.6
3二ウエ	二つの伝記を比べて読み、それぞれの書き手を適切に選択して書いたり、植村直己を表す言葉をそれぞれ抜き出して書いたりする	伝記を比べて読み、書き手の違いや書き表し方の特徴に着目して、自分の考えを深める														26.4	44.2
3二オカ																28.7	52.8

集計結果

	児童数	平均正答率(%)
北海道	29,261	78.0

ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)	
				北海道
学習指導要領の領域	数と計算	8		78.7
	量と測定	4		69.9
	図形	3		85.7
	数量関係	4		79.1
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0		
	数学的な考え方	0		
	数量や図形についての表現・処理	13		80.5
	数量や図形についての知識・理解	6		72.5
問題形式	選択式	3		85.7
	短答式	16		76.6
	記述式	0		

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			北海道		
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	
1(1)	806・9 を計算する	繰り下がりのある減法の計算をすることができる													87.4	0.2
1(2)	13.9×7 を計算する	小数と整数の乗法の計算をすることができる													80.2	0.6
1(3)	12÷0.6 を計算する	整数と小数の除法の計算をすることができる													70.5	1.2
1(4)	8×4-2×5 を計算する	減法と乗法の混合した整数の計算をすることができる													88.0	0.6
1(5)	5×(2+3) を計算する	()を用いた整数の計算をすることができる													93.4	0.5
1(6)	1と2/7-4/7 を計算する	帯分数と真分数の減法の計算をすることができる													86.8	2.5
1(7)	1/4+2/5 を計算する	異分母の分数の加法の計算をすることができる													72.6	2.3
2(1)	十万四百八を数字で書く	漢数字で表された数を、算用数字で表すことができる													82.1	0.4
2(2)	7.35=7+ /100 の に当てはまる数を書く	小数部分の数の意味について理解している													77.1	2.7
2(3)	1, 3, 5, 7の4枚のカードを使ってつくることのできる、5000に最も近い整数を書く	与えられた4種類の数字で、条件に当てはまる4桁の整数をつくることのできる													72.7	2.1
3(1)	はかりが示された場面で、目盛りを読む	はかりの目盛りを読むことができる													66.0	0.4
3(2)	9時50分から11時15分までの時間を求める	示された時計の図を基にして、時間を求めることができる													68.4	1.0
4	底辺7cm, 高さ3cm, 斜辺4cmの平行四辺形の面積を求める式と答えを書く	平行四辺形の面積の求め方について理解している													65.9	2.6
5(1)	直方体の面の大きさを選ぶ	直方体の面の形や大きさについて理解している													84.6	0.7
5(2)	縦7cm, 横5cm, 高さ2cmの直方体の体積を求める式と答えを書く	直方体の体積の求め方について理解している													79.2	3.1
6	方眼紙上にかかれた6つの四角形の中から、ひし形を2つ選ぶ	ひし形の定義や性質について理解している													92.3	0.5
7	2つの合同な四角形について、一方を回して置いた場合に、対応する角を選ぶ	2つの合同な四角形について、対応する角を判断することができる													80.1	1.2
8	棒グラフを読み、児童数が最も多い学校名を書く	棒グラフから、数量が最も大きい項目を読み取ることができる													99.0	0.8
9	100人のうち40%が女子のとき、女子の人数と求める式を書く	百分率の意味について理解している													36.2	5.4

集計結果

	児童数	平均正答率(%)
北海道	29,156	42.2

ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)	
				北海道
学習指導要領の領域	数と計算	4		44.1
	量と測定	2		46.1
	図形	3		34.1
	数量関係	7		47.6
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0		
	数学的な考え方	9		34.2
	数量や図形についての表現・処理	3		61.9
	数量や図形についての知識・理解	1		55.1
問題形式	選択式	4		50.3
	短答式	4		62.1
	記述式	5		19.8

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			北海道		
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	
1(1)	直方体の箱の3辺の合計を求め、そのときの荷物サイズを表から読み取る	示された大きさを基に3辺の長さの和を求め、その数が含まれる範囲を考えて表を読むことができる													63.0	1.8
1(2)	荷物の3辺の合計と重さが示された場合に、送料を求め、どのようにして求めたのかその考えを書く	条件に対応して表を読み、示された大きさを基に送料を判断して、その考えを記述できる													29.2	4.3
2(1)	2分音符の長さは、8分音符の長さの何倍かを書く	倍の意味に基づいて、目盛りの数を基に何倍かを求めることができる													54.9	1.3
2(2)	2分音符と付点2分音符の長さの関係を正しく表している図を選び、その図が正しいわけを書く	小数倍の意味に基づいて、2量の関係を正しく表している図を判断し、その理由を記述できる													9.0	4.3
3(1)	正方形の作り方の図を見て、どの部分が同じになっているか、辺と角をそれぞれ選ぶ	紙をぴったり重なるように折る操作の数学的な意味を理解している													36.9	1.6
3(2)	正方形であることを紙を折って確かめるときに、その折り方で何を確かめたことになるのかを選ぶ	図形を確かめるためには、その図形の定義に当たる条件を確かめればよいことを理解している													55.1	2.1
3(3)	長方形の紙を折ってできた四角形が、どのような図形かを書く	示された操作の意味を理解し、できた図形の形と大きさを判断して、それを記述できる													10.2	19.5
4(1)	5年前と比べて、国内生産台数は増えているが、輸出した台数の割合が減っている年を書く	棒グラフと折れ線グラフの両方が示されたグラフから、必要な情報を読み取ることができる													55.3	1.9
4(2)	2000年の輸出した台数が1995年よりも多いことが分かるわけの説明として、最もふさわしい記述を選ぶ	基準量と割合の両方に着目して、比較量の大小判断の理由としてふさわしい記述を判断できる													59.6	3.6
4(3)	1980年と1985年は、どちらの年も輸出した台数が輸出しなかった台数より多いことが分かるわけを書く	比較量の大小判断について、示された判断が正しい理由を記述できる													6.9	34.4
5(1)	最も早く、どのゴンドラに乗ることができるかを書く	示された状況が包含除の場面であることを理解し、計算によって得られる数などの意味を解釈できる													49.7	3.4
5(2)	ゴンドラが下がっていくときの高さの違いを表から読み取る	目的に応じて表から情報を読み取ることができる													75.5	6.5
5(3)	ゴンドラが上がっていくときの説明を基にして、ゴンドラが下がっていくときに急に下がるように感じるわけを書く	ゴンドラが上がるときの説明を解釈し、それを下がるときに適用して、説明を記述できる													43.7	9.3